

第32回甲賀市水道事業審議会 次第

日 時:平成29年2月17日(金)
14時00分～16時30分

場 所:甲賀市役所甲南庁舎1階第1会議室

甲賀市市民憲章唱和

わたしたちは「みんながつくる住みよさと活気あふれる甲賀市」を目指して、この憲章を定めます。

あふれる愛に あなたも仲間
いろどる山河と 生きいき文化
こぼれる笑顔に 応える安心
うみだす活力 受けつぐ伝統
かがやく未来に 鹿深の夢を

1. 開会のあいさつ

2. 審議会委員の委嘱状交付

3. 審議会会長、副会長選出

4. 甲賀市の水道事業概要

5. 審議

- ①平成28年度 甲賀市水道事業会計決算見込について <資料1>
- ②平成29年度 甲賀市水道事業会計予算(案)の概要について <資料2>
- ③甲賀市水道事業経営戦略について <資料3>

別冊 甲賀市水道事業経営戦略(案)

6. 会議内容等の公開、非公開の決定について

7. 閉会のあいさつ

平成 28 年度甲賀市水道事業会計決算見込の概要

給水人口の減少等により、給水収益は毎年減少していましたが、平成 28 年度においては前年度に比べて微増する見込みです。しかし、将来的には水需要が減少するものと予測しており、加えて、施設の老朽化と更新時期を迎えるため、厳しい経営状況にあります。

平成 28 年度の収益的収支については、県用水受水費の減少等により支出が減少し、約 3 億 9 千万円の黒字と見込んでいます。純利益については条例に基づき、積立を行う予定です。維持管理においては、安全で安心な水道水の安定供給のため、夜間休日の待機業務や漏水調査などを実施しました。

また、資本的収支については、老朽管路の布設替をはじめ、地域間を結ぶ連絡管整備などを実施し、収入を約 4 億円、支出を約 9 億 5 千万円と見込んでおり、資本的収入が資本的支出額に不足する額約 5 億 5 千万円は、過年度分損益勘定留保資金で補てんします。

○収益的収支（水道水をお届けするための財源と費用）

決算見込額	収入	3, 0 7 8, 0 0 0 千円
	支出	2, 6 8 0, 0 0 0 千円
	差引	3 9 8, 0 0 0 千円

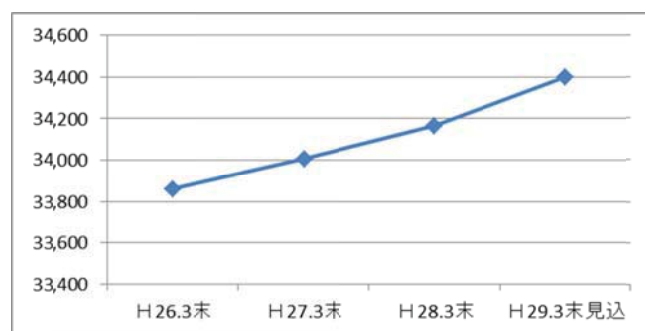
【収入】

① 水道料金 2, 5 6 2, 0 0 0 千円

給水栓数推移

(単位: 栓)

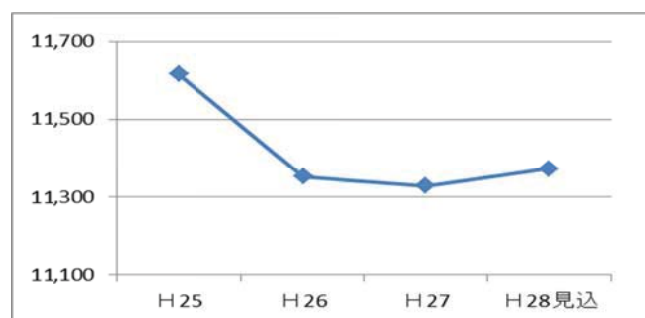
	給水栓数
H26.3 末	33,860
H27.3 末	34,005
H28.3 末	34,166
H29.3 末見込	34,400



有収水量推移

(単位: 千 m³)

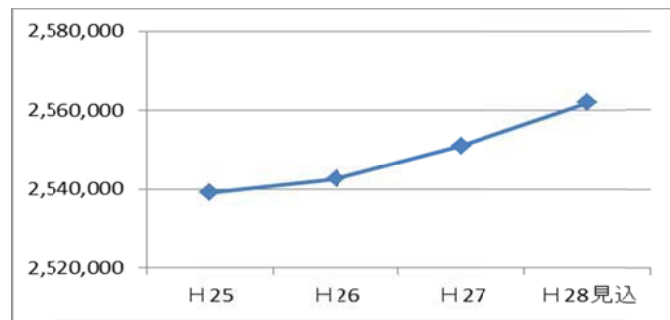
	有収水量
H25	11,618
H26	11,353
H27	11,329
H28 見込	11,374



給水収益推移

(単位: 千円)

	給水収益
H25	2,539,124
H26	2,542,656
H27	2,551,079
H28見込	2,562,000

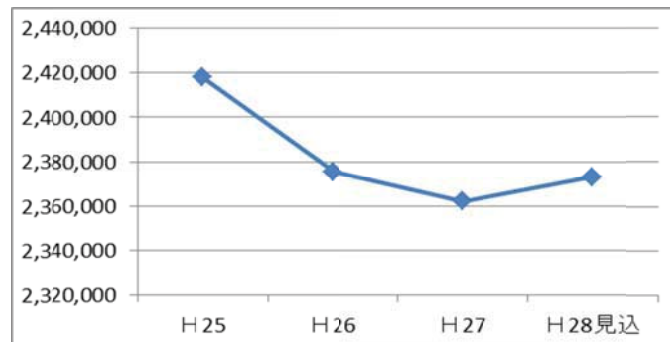


給水収益推移

(消費税及び地方消費税抜き)

(単位: 千円)

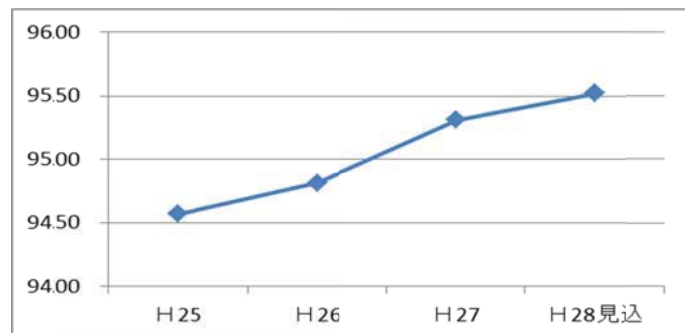
	給水収益
H25	2,418,214
H26	2,375,490
H27	2,362,110
H28見込	2,373,000



収納率の推移

(単位: %)

	収納率
H25	94.57
H26	94.81
H27	95.31
H28見込	95.52



- ② 一般会計からの繰入金
簡易水道企業債利子等
簡易水道高料金対策
消火栓維持管理負担金

15,000千円

25,000千円

40,000千円

- ③ 長期前受金戻入

402,000千円

【支出】

- ① 維持管理経費

動力費、修繕費、委託料

491,000千円

- ② 県水受水費

878,000千円

- ③ 減価償却費

894,000千円

- ④ 企業債利息

138,000千円

○資本的収支（水道施設を整備するための費用と財源）

決算見込額	収入	401,000千円
	支出	957,000千円
	差引	△556,000千円

【収入】

- ① 企業債 234,000千円（H27年度繰越含む）
- ② 一般会計からの出資金 79,000千円
 - 合併特例債事業
 - 簡易水道等企業債償還元金補給
- ③ 分担金 86,000千円（H27年度繰越含む）
 - 工事分担金
 - 新規加入金
- ④ 補助金 2,000千円
 - 国庫補助金

【支出】

- ① 配水管整備等の建設工事費用
 - 委託料 56,000千円（H27年度繰越含む）
 - 老朽管布設替
 - 下水道関連管路移設業務委託
 - 水道認可変更届出書作成業務委託 等
 - 工事費 454,000千円（H27年度繰越含む）

【上水道】

- 連絡管布設工事
- 老朽管布設替工事
- 下水道関連管路移設工事
- 舗装本復旧工事 等

【簡易水道】

- 鮎河地区舗装復旧工事
- 固定資産購入費 6,000千円
 - 公用車購入1台
 - 水道施設情報管理システム
- ② 企業債償還金（元金） 409,000千円
 - 平成28度末企業債残高 6,909,000千円

平成 29 年度甲賀市水道事業会計予算（案）の概要

平成 29 年度の水道事業会計予算は、給水収益は平成 28 年度において増加していることから、料金収入を微増傾向と見込んでいます。しかし、中長期的な視点で見ると、給水人口の減少により給水収益は減少していくと予測しており、財政収支計画に基づいた効率的な事業運営を行い、安全で安心な水道水の安定供給に努めていきます。

維持管理においては、漏水調査に基づく漏水管の修繕や老朽管の更新を継続し、有収率の向上に努めます。加えて、水道施設の老朽化と更新時期を迎え、施設更新を計画的に進めていくため、平成 28 年度から取り組んでいるアセットマネジメント計画策定を実施します。また、引き続き甲賀市管工事協同組合への 24 時間体制による待機業務、漏水修繕を委託するとともに、上下水道料金お客様センターとの連携強化により住民サービスの向上と収納率の向上を図ります。

施設整備においては、浄水場の水源確保のための調査を継続するとともに、配水区域間を結ぶ連絡管の整備を進め、老朽管布設替えや下水道事業などに伴う整備を行います。

○収益的収支（水道水をお届けするための財源と費用）

予算要求額	収入	3, 058, 000 千円
	支出	2, 812, 000 千円
	差引	246, 000 千円

【収入】

① 水道料金	2, 548, 000 千円	（前年度比 +2, 000 千円）
② 一般会計からの繰入金	80, 000 千円	（前年度比 △1, 000 千円）
簡易水道企業債利子補給		
高料金対策補助金		
消火栓維持管理負担金		
③ 長期前受金戻入	399, 000 千円	（前年度比 △2, 000 千円）

【支出】

① 維持管理経費		
動力費	109, 000 千円	（前年度比 △11, 000 千円）
水源地、浄水場、配水池等の電気代		
修繕費	150, 000 千円	（前年度比 △3, 000 千円）
計装設備・水位計等修繕		
漏水修繕		
検定満期量水器修繕		

委託料	324,000千円	(前年度比 △6,000千円)
施設運転管理業務委託		
水質検査業務委託		
漏水調査業務委託（水口地域）		
上下水道料金等関連業務委託		
アセットマネジメント策定業務委託		
② 県水受水費	881,000千円	(前年度比 0千円)
③ 減価償却費	900,000千円	(前年度比 +2,000千円)
④ 企業債利息	132,000千円	(前年度比 △14,000千円)

○資本的収支（水道施設を整備するための費用と財源）

予算要求額	収入	530,000千円
	支出	1,056,000千円
	差引	△526,000千円

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額526,000千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額36,000千円、過年度分損益勘定留保資金490,000千円で補てんする。

【収入】

① 企業債	330,000千円	(前年度比+30,000千円)
② 一般会計からの出資金	78,000千円	(前年度比△40,000千円)
合併特例債事業		
簡易水道企業債元金等		
③ 分担金	71,000千円	(前年度比△67,000千円)
工事分担金		
下水道工事関連		
甲南駅前線整備関連等		
④ その他補助金	6,000千円	(前年度比 0千円)
山村辺地活性化事業（県）		

【支出】

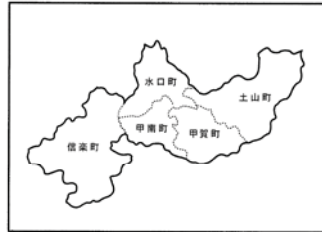
① 配水管整備等の建設工事費用		
水道設備工事費		
委託料	55,000千円	(前年度比△40,000千円)
老朽配給水管布設替設計業務		
浄水場改良検討業務		
工事費	546,000千円	(前年度比△40,000千円)
連絡管布設工事（合併特例債事業）		
老朽配給水管布設替工事		
舗装復旧工事		
下水道関連による配給水管移設工事等		
② 固定資産購入費	2,000千円	(前年度比△3,000千円)
公用車購入等		
③ 企業債償還金	412,000千円	(前年度比+2,000千円)
企業債の元金償還		

平成29年度 水道事業 工事箇所

番号	事業区分	工事名	事業内容	場所	備 考
1	配水区域連絡管整備	隠岐・寺庄連絡管布設工事(その5)(H26～H29)	L=429m	甲南町	
2		西地区外配水管布設工事	L=422m	信楽町	
3	管路新設	甲南駅前線配給水管布設工事	L=411m	甲南町	甲南駅前線関連
4	施設更新	中央監視装置システム移設更新工事	1式	水口町	庁舎整備関連
5		車庫築造工事	1式	水口町	庁舎整備関連
6		庁舎移転に伴う中央監視装置移設工事	1式	水口町	庁舎整備関連
7		減圧弁改修工事	1箇所	土山町	
8		浄水場ろ過池更生工事	3池	信楽町	
9		信楽ニュータウンテレメータ設置・中央ソフト改造工事	1式	信楽町	
10	老朽管更新	酒人地区老朽管布設替工事(その1)	L=470m	水口町	
11		三大寺地区老朽管布設替工事	L=330m	水口町	
12		山上地区老朽管布設替工事	L=1098m	水口町	
13		貴生川雨水配給水管移設工事	L=40m	水口町	下水道関連
14		水口・小曽部線配水管移設工事	L=33m	水口町	建設事業関連
15		土山地区老朽管布設替工事	L=280m	土山町	
16		相模地区老朽管布設替工事	L=186m	甲賀町	
17		森尻地区老朽管布設替工事	L=863m	甲南町	
18		磯尾地区老朽管布設替工事(その1)	L=563m	甲南町	
19		長野地区配給水管移設工事その1	L=330m	信楽町	下水道関連
20		長野地区配給水管布設工事	L=11m	信楽町	下水道関連
21		長野地区配給水管移設工事その2	L=470m	信楽町	下水道関連
22		江田地区配給水管移設工事	L=300m	信楽町	長野ハイパス関連
	舗装復旧	水道工事舗装復旧	4箇所、7,944㎡		

平成29年度 水道事業 工事箇所図

水源寺



14 水口・小曾部線配水管移設工事

10 酒人地区老朽管布設替工事

4 中央監視装置システム移設更新工事

6 庁舎移転に伴う中央監視装置移設工事

5 車庫築造工事

13 貴生川雨水配給水管移設工事

湖南市

11 三大寺地区老朽管布設替工事

12 山上地区老朽管布設替工事

大津市

8 浄水場ろ過池更生工事

20 長野地区配給水管布設工事

19 長野地区配給水管移設工事その1

21 長野地区配給水管移設工事その2

22 江田地区配給水管移設工事

2 西地区外配水管布設工事

9 信楽ニュータウンテレメーター設置・中央ソフト改造工事

17 森尻地区老朽管布設替工事

3 甲南駅前線配給水管布設工事

7 減圧弁改修工事

日野町

15 土山地区老朽管布設替工事

16 相模地区老朽管布設替工事

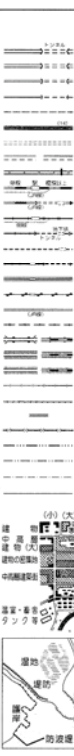
1 隠岐・寺庄連絡管布設工事(その5)

18 磯尾地区老朽管布設替工事(その1)

三重県

三重県

1:50,000
0 1000 2000 3000m



甲賀市水道事業経営戦略の策定

地方公営企業は、提供するサービスの対価である料金収入をもって経営を行う独立採算性を基本としながら、市民の日常生活に欠くことのできない重要なサービスを提供する役割を果たしています。しかし、人口減少、施設の老朽化等、経営環境が厳しさを増す中で、将来にわたり、サービスを安定的に継続することが可能となるように、絶えず経営の効率化・健全化を行うことが必要です。そのような中、平成 26 年 8 月 29 日付で総務省から「公営企業の経営に当たっての留意事項について」が通知され、経営戦略の策定についての考え方が示されました。甲賀市水道事業においても、この通知の方針に沿った経営戦略を策定することとし、平成 28 年度中に策定します。

経営戦略の基本的な考え方と主な内容

- 中長期的な経営の基本計画。計画期間は 10 年間。
- 「投資試算」（施設・設備に関する投資の試算）と「財源試算」（財源の見通し）を均衡させた「投資・財政計画」（収支計画）が中心。
- 効率化・経営健全化の取組方針を記載。
- 3～5 年に一度見直しを行い、適切な事後検証、更新を行う。

《経営戦略のイメージ》

